

研究代表者 各位

前略

平素より、原子力機構施設利用共同研究では、大変ご迷惑をおかけ致しております。本書簡は、過日、研究課題のご応募頂き、当方の採択委員会において採択された方々へお送り致しております。

さて、本来であれば、この時期、皆様のお手元には、平成 23 年度の課題採択通知が届き、間もなく始まる新年度の実験準備に勤しんでいる頃ではなかったかとお察し致します。然しながら、この度の東北地方太平洋沖地震が襲った脅威は、各原子力設備にも猛威を振るい、軒並み、原科研の研究炉と付属設備へ甚大なダメージを与えました。

我々も、原科研の皆様を全面的にサポートする所存であり、全力で復旧作業にあたっておりますが、通常の共同利用運転が再開されるまでには、まだまだ時間を要する事は必至です。従いまして、原科研をご利用予定であった皆様には、当面の間、共同利用をお控え頂きたくご連絡申し上げます。

一方、高崎研についてですが、原科研に比べて地震の影響は少なかったものの、TIARA につきましては、受変電設備の点検作業を行いながらの復旧作業に時間を要する事、また、東京電力の行っている計画停電の影響ため、4、5 月の共同利用運転を見合わせる事となりました。実験を心待ちにされていた方々には、大変申し訳ありませんが、何卒、ご理解賜りたく切にお願い申し上げます。

このような状況下でも Co-60 照射および 1 号加速器につきましては、4 月 4 日から利用を受け付けます。然しながら、例年のように皆様方に、個々に予算を配分する事が出来ない状況ですので、利用をご希望される方は、その都度、開放研と打合せの上、照射使用料と旅費の上限を設けて、調整させて頂きながら進めていきたいと存じます。

今回の未曾有の大惨事は、思わぬところで皆様へご迷惑をおかけする事となってしまいました。我々スタッフ一同、全力で復旧作業を行っておりますので、何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

早々

平成 23 年 4 月 1 日

東京大学大学院工学系研究科
原子力専攻
共同利用管理本部長
勝村 庸介